

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第10回 橋本地区TDM推進委員会				
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話 042-769-8249 (直通)				
開催日時		平成26年8月19日(火) 10時00分～11時30分				
開催場所		緑区合同庁舎 2階 会議室2-1				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	7人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1. 開会 2. 委員自己紹介 3. 議事 (1) 要綱改正について (2) 橋本地区TDM推進計画の進捗状況と今後の取組について (3) 橋本地区TDM推進委員会の見直しについて (4) その他 4. 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〇 は委員の発言、 △ は委員長の発言、 □ は事務局の発言 )

### 1 . 開会

### 2 . 委員自己紹介

自己紹介により委員の紹介を行った。

### 3 . 議事

#### ( 1 ) 要綱改正について

事務局から配布資料 〇 を用いて説明を行った。

#### ( 2 ) 橋本地区 T D M 推進計画の進捗状況と今後の取組について

事務局から配布資料 △、 - 1、 - 2、 - 3 を用いて説明を行った。

施策 1「南口駅前広場のレイアウト変更」については 3 月末で終了したとのことであるが、今後、タクシー降車場の新設や企業等送迎バス乗降場の拡充について可能性はあるのか。現段階では、スペースが限られていることから、大きなレイアウト変更は難しいと考えている。今後、タクシー乗降等の駅前広場利用について、交通事業者と調整していきたい。

タクシー乗り場で降車も行なう提案について、タクシー施設会も了承しているのか。タクシー降車場の設置については、施設会としても要望している。乗り場を利用した降車については、今後、協議が必要となるが、二本松方面から来た場合、駅を通過することとなり、料金が高くなってしまう可能性があることから、降車場の明確な位置づけがないと難しい。

協同病院の駐車場待ち車両により、バスの走行を阻害しているが、バスの増便や自転車レーンの本格運用等の施策との整合は図っているのか。

協同病院の駐車場待ち車両については、警察からも協同病院へは申し入れを行なっている。橋本駅周辺には市営駐車場が 2 箇所あるが、利用率を調査したところ 40～50%の利用率であった。市営駐車場の空きスペースの有効活用について、市が入って協同病院と調整してほしい。

市としても抜本的な解決策がないが、今後協議して対策に取り組んでいきたい。

施策１７について、リニア中央新幹線の新駅設置に伴う整備計画との調整が必要となるが、方向性としては、このまま一方通行化を検討するのか、整備計画に委ねてしまうのか。社会実験により課題が確認され、本格導入には至っていない。課題解決には、新たな道路の整備が必要となる。現段階で道路整備が決定していないことから、一方通行化の導入は困難となっている。

施策１３でポストコーンを使った自転車レーンを提案しているが、リニア中央新幹線に伴うまちづくりを進めることを考え景観に配慮すべき。

施策１１については、北口で実施している路面標示によるバス待ち列の誘導線を設置することで解決可能と考えられるが、早い段階で対応はできないのか。  
北口では実験として実施した。南口でも早い段階で対応できると思う。

自転車レーンについては、警察庁と国土交通省でガイドラインを出しているので参考にしてほしい。

ポストコーンを利用した自転車レーンの提案があるが、構造物で区切ると自転車道として扱われる可能性がある。自転車道となった場合は、必要となる幅員が広がる。また、ポストコーンを設置することで、緊急車両が通る際に、一般車が路肩に避けられなくなることから、警察と十分調整すべき。

警察と協議しながら検討を進めていきたい。

### (3) 橋本地区TDM推進委員会の見直しについて

事務局から配布資料 を用いて説明を行った。

次回から委員会を縮小するということか。

任期が平成２７年２月までとなっており、その際の際の要綱変更に合わせて行いたい。

次回委員会で、リニア中央新幹線に伴う整備計画にTDM計画がどこまで含まれているのか示して欲しい。

リニア中央新幹線に伴う整備計画が上位計画となるのか。

リニア中央新幹線に伴う整備計画は策定中であり、TDM施策がどこまで含まれるのか確定していない。新たなまちづくりまでは１０年以上かかることから、TDM推進計画は粛々と進めるが、２重投資とならないよう調整していく。どちらが上位計画ということも

なく、TDM推進計画を整備計画へ融合していくこととなる。

(4) その他について

次回の委員会は1月下旬から2月上旬を予定している。また、駅前広場のレイアウト変更が完了したことを受け、効果検証方法について提案していきたい。

4. 閉会

以 上

## 橋本地区 TDM 推進委員会 委員名簿

区 分	委 員			備 考
	所 属	役 職	氏 名	
学識経験者	筑波大学大学院システム情報工学研究科	准教授	谷口 綾子	出席
交通事業者	神奈川県中央交通株式会社 運輸計画部 計画課	課長	永山 輝彦	代理出席 申請係長 井上誠
	相模原タクシー施設会	理事	森田 正紀	出席
交通管理者	神奈川県警察本部 交通部 交通規制課	課長	瀬崎 瑠里	欠席
	神奈川県相模原北警察署 交通課	課長	太田 剛	代理出席 交通総務係長 菅原剛
国土交通省	関東地方整備局 建政部 都市整備課	課長	能勢 和彦	代理出席 課長補佐 加藤郁二
	関東運輸局 交通環境部 環境課	課長	鈴木 孝行	出席
地域	橋本地区自治会連合会	会長	草野 寛	出席
	橋本南口商店会	会長	片野 賢一	出席
公募市民			新井 友恵	出席
			小黒 芳男	出席
相模原市	都市建設局 土木部	部長	匂末 敏男	出席
	都市建設局 まちづくり計画部	部長	細谷 龍一	出席

: 委員長

: 副委員長